

めぐみの学校の子

恵田小 校長室だより

令和二年三月二十四日

No. 149

つばめがきた

季節はめぐる。春は今年もやってきた。先週、卒業式を終え、午後、外に出ると、体育館の前をつばめが一羽飛んでいた。桜もチューリップも、今にも花を咲かせそうだが、今年はずばめも早い。



新型コロナウイルスの影響で、今年に限り、季節の変化とともに行うはずのことがいぶん変わってしまった。そんななかであるが、先週の卒業式は、参加者の制限、時間短縮など、感染予防策を講じて行った。とてもよい卒業式になった。6年生ができる準備をしっかりとしていたことが最も大きい。職員もできることをして送り出した。

1～5年生にとって、今年度最後の日となるはずだった修了式がなくなった。恵田っ子は、保護者の皆さんと一緒に来校し、通知表、修了証を受け取ることになった。クラス替えはないとはいえ、今年度の学年の最後の日である。短い時間ではあるが、このときを大切にしたい。

様々な影響を受け、学校の日常はまだ戻らないが、3月の「まとめ」「別れ」「出会い」にかかわる気持ちは同じようにもちたい。残された令和元年度末を大切にするとともに、新年度の準備をしておきたい。新任式、始業式、入学式を行う4月6日からスタートできるよう願う。

つばめがやってきた。あと数日で桜も花を咲かせ、桜トンネルができるだろう。恵田の春本番まであと少し。

恵田っ子へ

めぐみの和(わ)

めぐみの和を目標(もくひょう)にした一年(いちねん)。四月(しがつ)に入学(にゅうがく)した一年生(いちねんせい)もっぱな恵田(えだ)っ子(こ)に成長(せいちょう)しよう(しよう)しました。二(に)く五年生(ごねんせい)もそれぞれよい一年(いちねん)を送(おく)りました。恵田(えだ)っ子(こ)、おうちの方(かた)、地域(ちいき)のつながり(つながり)がさらに強(つよ)くなり、恵田(えだ)学区(がく)の「和(わ)」ができました。

四月(しがつ)からは一学年上(いちねんじょう)になり、いよいよ最高学年(さいこうがくねん)の一年(いちねん)です。頼(たの)みます。それぞれ一学年上(いちねんじょう)の「あ」がり、新(あた)らしいことに取(と)り組(く)むと思(おも)います。目標(もくひょう)をしっかりともち、四月(しがつ)、始業式(しぎょうしき)を迎(むか)えらるるとよいですね。

先週(せんしゅう)の木曜日(もくようび)、六年生(ろくねんせい)が卒業(そつぎょう)しました。今年(ことし)、恵田(えだ)小(こ)をひっぱって(ひいて)くれた六年生(ろくねんせい)の姿(すがた)が、四月(しがつ)からみなさんのお手本(てほん)ですよ。

